

# 見守り 新鮮情報

## 第41号

一人暮らしの父が公共料金を払えなくなったという。驚いて行ってみると、通帳の残高がなくなっていた。**70代で認知症**の父が、約3年間に**訪問販売**で布団などを次々に買わされ、合計**約350万円**にもなっていた。

セールスマンが次々変わり、父は「**訪問しないで**」と言ったが、聞き入れられずに**何度も訪ねてきた**という。また、**この業者以外**にも**たくさんの契約があった**。



# 認知症の父が高額な布団などを次々と買わされた

■平成17年11月から ■関東地方で



## ひとこと助言

生活状況の  
変化に注意して



見守るくん

- 本人の判断力が不足していることに乗じて、次々に勧誘して契約させる手口です。特に一人暮らしや日中一人で留守番している場合、周りが気づかないうちにセールスマンが訪れ、大きな被害になってしまう危険性があります。
- 被害を未然に防いだり、拡大させないためには、家族や周りの方の協力が不可欠です。日頃から、たとえば見慣れない商品が大量にないか、不審な契約書類等がないかなど、家の中や生活状況の変化に注意しましょう。
- 認知症などの症状が見られる場合は、成年後見制度の利用も考えてみましょう。
- 心配な時は、お住まいの自治体の**消費生活センター**等にご相談ください。